

(別紙1) カリキュラム予定

時間	科目	研 修 内 容		担当講師
13：30～13：40	開 講 式			—
13：40～14：10	Ⅰ 目的	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する	丸木 雄一 先生
		到達 目標	1 研修の目的を理解する 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する	
		主な 内容	・共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・認知症施策 ・本人の視点を重視したアプローチ ・入院する認知症の人に起こっていること ・一般病院の医療従事者に期待される役割	
14：10～14：20	休 憩			—
14：20～15：30	Ⅱ 対応力	ねらい	認知症を理解し、入院中の対応の基本を習得する。	榮子 伸子 先生
		到達 目標	1 認知症の特徴を理解する 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する	
		主な 内容	・認知症の人の理解 ・認知症の病型、症状、経過 ・治療と非薬物療法 ・認知症に伴う行動・心理症状（B P S D）への対応 ・せん妄への対応・認知症ケアの基本 ・家族・介護者への支援 ・認知症の人の意思決定支援について	
15：30～15：40	休憩			—
15：40～16：20	Ⅲ 連携等	ねらい	院内・院外の多職種連携の意義を理解する	丸木 雄一 先生
		到達 目標	1 多職種連携の意義とメリットを理解する 2 院内・院外で多職種連携する必要性について理解する 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する	
		主な 内容	・連携の定義と展開過程 ・各医療従事者の院内連携上の役割 ・入院時・退院時カンファレンスで確認・検討すべき内容や課題 ・認知症の人を支える様々な仕組み	
16：20～16：30	休 憩			—
16：30～17：50	Ⅳ 演習	目的・ 意義	・認知症の困難事例やせん妄の事例を通して、チームで解決する方法を考える ・さまざまなBPSDに対して、薬物療法だけでなく、ケアや対応、非薬物療法を検討する ・演習を通じ病院での認知症の課題をチームで解決することを学ぶ	榮子 伸子 先生
17：50～18：00	事務局から案内			—